

非変性Ⅱ型コラーゲン

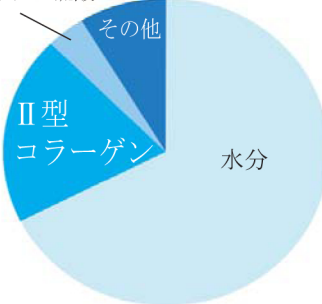


コラーゲンの種類と分布

型	主な分布
I	皮膚・骨・腱・臓器
II	軟骨
III	血管・皮膚
IV	基底膜
V	胎盤・皮膚・筋肉
VI	血管・子宮
VII	胎盤・皮膚
VIII	内皮細胞・角膜

軟骨の成分

グルコサミン
コンドロイチン硫酸



非変性Ⅱ型コラーゲン経口トレランス
により関節リウマチ・変形性関節症が
改善された主な学術報告

Science, 261, 1727-1730(1993)
Arthritis Rheum, 39, 41-51(1996)
Rheumatol. Int, 16, 237-240(1997)
Arthritis Rheum, 39, 623-628(1996)
Arthritis Rheum, 41, 290-297(1998)

天然型の軟骨コラーゲン

関節にある軟骨の主成分はⅡ型コラーゲンです。これは皮膚等に見られるコラーゲンとは異なる物で、軟骨にしか存在しません。またコラーゲンは熱に非常に弱く、調理・抽出課程ですぐに分解変性(ゼラチン化)をおこし、そのままで摂取することは困難です。非変性Ⅱ型コラーゲンは鳥類軟骨より特殊な製法で熱を加えずこの天然型Ⅱ型コラーゲンを抽出したもので、本来の機能を維持した形で摂取することを可能にしました。

グルコサミン・コンドロイチン硫酸は僅か3-5%

軟骨の成分の内、水分が60-75%、Ⅱ型コラーゲンが15-20%を占めており、実はグルコサミン・コンドロイチン硫酸は3-5%とわずかな重量しか含まれていません。関節の軟骨の修復には、非変性Ⅱ型コラーゲンが重要なのは言うまでもありません。

関節痛の原因：免疫による痛みにも

関節の軟骨がすり減ることで炎症が起こります。炎症は物理的な擦れからくるものだけでなく、破壊された軟骨の破片に対する白血球の免疫反応からも起こされます。いくら他の軟骨の成分を摂取しても、ある程度のところで効果が弱くなってくるのは、この免疫反応(炎症)が止まっていないからといえます。

経口トレランス

免疫反応で白血球から攻撃を受ける対象となっているものを経口で摂取することによって、その攻撃が治まるという性質があります。これは経口トレランスと呼ばれる体内反応で、口から摂取した栄養物に対しては、免疫反応を寛容するというものです。すべての経口摂取物に反応しては栄養失調となり生命の危機に陥りますので、生命を維持させるための大事なシステムと言えます。非変性Ⅱ型コラーゲンを摂取すると、このシステムにより経口トレランスがおり、関節における免疫反応・白血球の炎症反応が軽減され、軟骨成分の補充のみでなく、根本的な痛みの除去が期待できます。



商 品 名	非変性Ⅱ型コラーゲン	品 質 規 格	規格値
原 材 料 名	非変性Ⅱ型コラーゲン	一般生菌数	3000個/g以下
由 来 原 料	鳥類軟骨	大腸菌群	陰性
原 産 国	日本	水 分	5%以下
遺伝子組換え	非該当		